

中央処理区 大規模雨水処理施設整備事業計画（変更）（茨木市）

（様式1）

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	<p>本市では、地震対策が完了していない施設の耐震診断を実施しており、所定の耐震性能を保持していない管路施設及びポンプ施設（安威ポンプ場）について、適切な機能を確保し浸水被害の防止を図るため、集中的な地震対策を実施する必要がある。また、中央処理区では、下水道整備を着手してから60年が経過しており、雨水処理施設（大池ポンプ場及び安威ポンプ場）の老朽化が進行している。これらの施設について適切な機能確保を図り浸水被害を防止するため、集中的な雨水処理施設の改築を実施する必要がある。</p>
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハード整備による整備水準の目標は50mm/h程度（10年確率降雨）とソフト対策を実施する。 ・目標とする理由：安威川流域下水道計画と整合した雨水排除計画とする。 <p>② 目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> i)生命の保護の観点：浸水被害を軽減する。 ii)都市機能の確保の観点：浸水被害を軽減する。 iii)個人財産の保護の観点：浸水被害を軽減する。 iv)その他（地震対策）：レベル1地震動に対して「設計流下能力」、レベル2地震動に対して「流下機能」を確保する。 <p>③ ハード対策，ソフト対策及び自助の役割分担について</p> <ul style="list-style-type: none"> i)ハード対策 <ul style="list-style-type: none"> 施設整備により、50mm/h程度（10年確率）の降雨において浸水被害を防止する。 ii)ソフト対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップ等を用いて住民に避難方法を周知し、緊急時にはメールの配信等により情報提供を行う。 ・土のうの配布や雨水貯留タンクの設置における補助金の交付等により住民を支援する。 ・水路や側溝の清掃等について地域と協力して実施する。

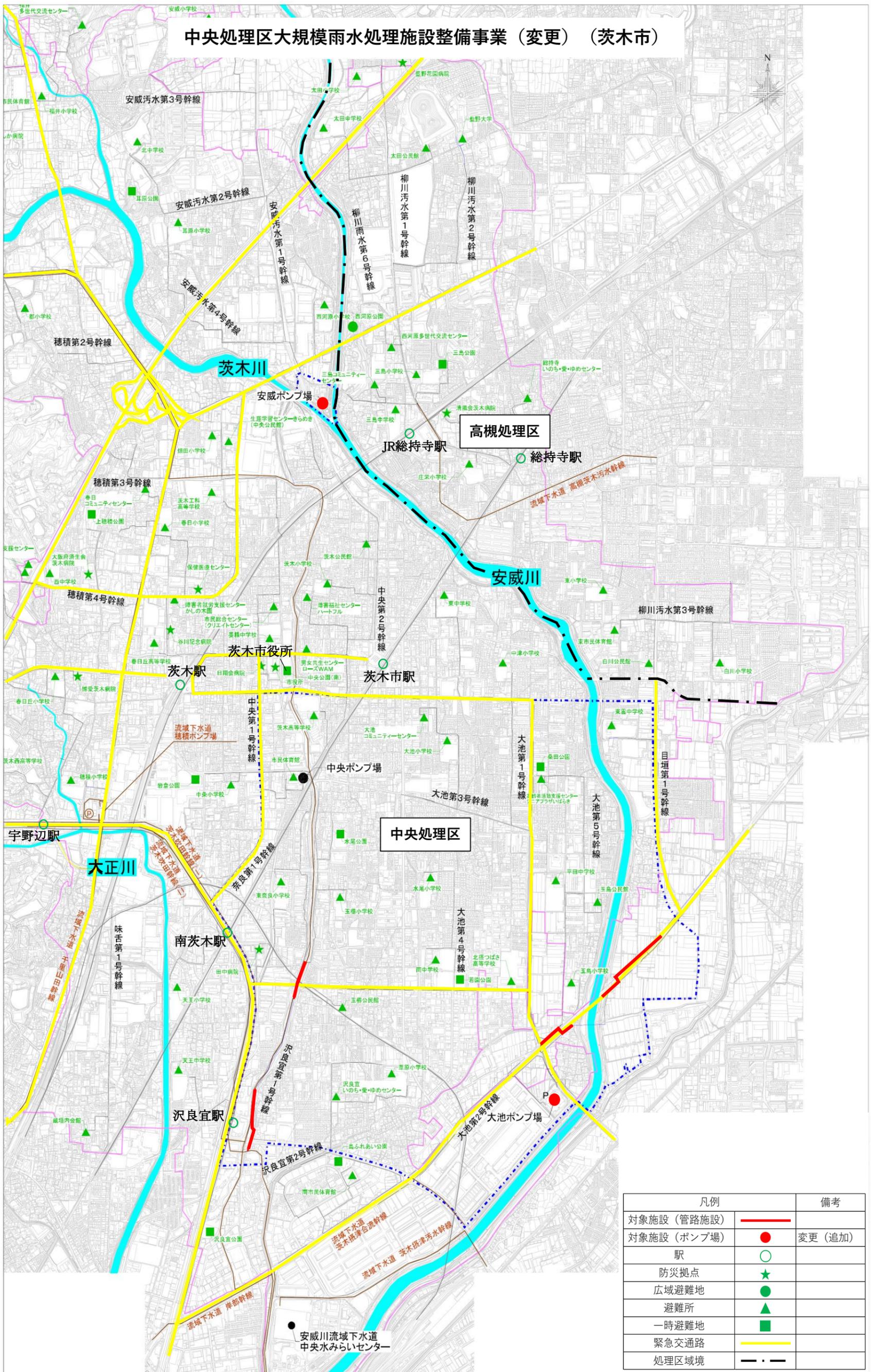
項目	内容・施策等			
内水ハザードマップ策定状況	<ul style="list-style-type: none"> ・有 ・策定予定 			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・管路施設の耐震化工事（約 1.3 km） ・ポンプ場の耐震化工事（1 箇所） ・ポンプ場の改築（2 箇所）
			下水道管理者以外	－
	ソフト対策	下水道管理者	・雨水貯留タンク設置における補助金交付	
		下水道管理者以外	<ul style="list-style-type: none"> ・土のう配布、水路清掃(下水道施設課) ・水害ハザードマップの作成、公表(危機管理課) ・災害情報メールシステム(消防本部)、緊急速報メール(危機管理課) ・総合防災訓練(危機管理課) 	
	自助	ハード対策	・雨水貯留タンクの設置	
		ソフト対策	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織、住民による避難・避難誘導訓練(地域防災計画) ・側溝清掃 	

年度計画（百万円）

名称	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	計
管路施設	486	449	374	364	1,673
大池ポンプ場	-	108	108	499	715
安威ポンプ場	-	99	214	499	812
計	486	656	696	1,362	3,200

項目	内容・施策等
整備効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地震動（最大震度 7）に対し、重要な幹線管路及び安威ポンプ場の流下機能を確保する。 ・供用開始から 38 年以上経過している中央処理区の大池ポンプ場及び安威ポンプ場について、雨水排水機能を適切に確保する。（1/10 対応）
放流先河川との調整状況	該当なし。

中央処理区大規模雨水処理施設整備事業（変更）（茨木市）



凡例		備考
対象施設（管路施設）	—	
対象施設（ポンプ場）	●	変更（追加）
駅	○	
防災拠点	★	
広域避難地	●	
避難所	▲	
一時避難地	■	
緊急交通路	—	
処理区域境	- · -	